

第680回

九州朝日放送番組審議会議事録

—— 2026年2月度 ——

- ◇ 議題
 - <ラジオ番組>
 - 「Positive Monster ポジモン！」
 - 放送日時：1月16日(金)放送分
- ◇ その他

2026年2月16日(月)開催

九州朝日放送株式会社

第680回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 2026年2月16日(月) 15時30分～17時15分

2. 開催場所 九州朝日放送 本社7階A会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 8名

委員長	山根 久資
副委員長	森 慎二
委員	副田 智幸
委員	サーズ 恵美子
委員	小柳 美佳
委員	泗水 康信
委員	林田 真心子
委員	松瀬 萌々香

欠席委員数 0名

放送事業者側出席者名

代表取締役社長	森 君夫
取締役 報道制作局長	大迫 順平
執行役員 総合編成局長	柴田 高宏
広報室長	原 由美子
総合編成局 編成戦略部 ラジオ事業部長	坂本 守
KBC MoooV 制作本部ラジオチーム 部長代理 (番組プロデューサー)	田原 博幸

総合編成局次長 兼 番組審議会事務局長	武藤 礼治
番組審議会事務局 (総合編成局)	松永 俊郎

4. 議題

- (1) ラジオ番組「Positive Monster ポジモン！」
放送日時：1月16日(金)放送分
- (2) 2月・3月 ラジオ・テレビ番組編成状況の報告
- (3) 1月 視聴者・聴取者応答状況の報告
- (4) その他

5. 議事の概要

委員の意見（概要）

委員からは、

- ニュースや天気、スポーツ、地域のイベント情報から、時事ネタ、お便り紹介など、普通の人の視点で気軽に聞けるいい番組だった。
- 長岡大雅アナウンサーの話しぶりはお見事で、テンポもよく朝の忙しい時間帯の“ながら聞き”には大変良い番組だと思った。
- 長岡アナが全体の雰囲気をもよく保っており、進行が非常にスムーズで聞いていて心地よかった。状況に応じたフォロー力の高さが印象に残った。
- 濃霧の情報は出勤前の人にとって重要な情報になっていた。リスナーの情報を交えながら続報を伝えたことで関心の高い情報が適切に伝えられていた。時間をおいて複数回取り上げたことも番組を途中から聞き始めた人に状況を伝えるという点で評価ができる。
- 共通テストの前日に、はじめちゃんから注意事項やメッセージが伝えられたのはタイムリーだった。「結果も大事だが、これまでの過程の方が大事」「試験が終わったら親や支えてくれた人に感謝を」という言葉が心に刺さった。
- 福岡ではプロ野球の話題が取り上げられることが多いが、「ポジモン！」ではバスケットボールや相撲など他のスポーツも取り上げられており、話題の幅広さが印象に残った。スポーツをより身近に感じただけでなく、ローカル局のラジオ番組らしい親しみを感じた。
- パーソナリティーが取り上げなかった視点をリスナー投稿で補完し、リアルタイムで寄せられる意見を番組に反映している場面はラジオならではの魅力を感じた。
- 「雑談無双」などのコーナーを中心に、ラジオでは意味が分かりづらいことを長岡アナが上手に補完していたので安心して内容を理解することができた。

などの評価を頂きました。

一方、気になる点や望むこととして、

- 元気でポジティブな雰囲気は感じたが、朝から聞くには少し騒がしい印象を受けた。
- リスナーを飽きさせない工夫が随所に散りばめられ、とても聞きやすい構成だったが、これという印象に残るコーナーがなかった。
- 共通テストの話題は誰を対象にしているのかと疑問に感じた。また、大学入試に馴染みのないリスナーが置き去りにされていないかと気になった。
- 衆議院の解散総選挙の話題に割く時間が長く、否定的なコメントが多かったことにもスト

レスを感じた。

- 内閣支持率について、2つの異なる調査結果が示されていたので混乱した。
- 「とっくんのラジオクッキング」は唐突感を感じた。
- 「雑談無双」のコーナーではゲストを招き文具を紹介していたが、言葉（音声）だけではどんな商品なのかいまいち想像できなかった。
- どんな話題もポジティブに変換してみたり、何かを頑張っている人を招いて、元気の源やうまくいかなかった時の解決方法を聞くコーナーがあるとより面白くなるのではないか。
- 長岡アナのはじめちゃんに対するいじりが少し過ぎるのではないかと気になった。
などの批評や提言を頂きました。

これらに対して、制作担当者からは、

- 長岡アナは一人でも多くの人に元気を届けたいという熱い思いがある。制作サイドは、そんな長岡アナの内面を引き出すべく、構成やネタ選び、ゲスト選定を行っている。
- 長岡アナの熱意ゆえに「少し騒がしい」とご指摘を受けることもあるが、そうしたキャラクターが長岡アナの良さであり、周囲を惹きつける要素でもある。
- 長時間番組なので、前半と後半でペースを変え、扱う内容を変えるなどして、リスナーを飽きさせないよう工夫している。スポーツは意識的にいろいろな競技を取り上げている。
- 当日の濃霧情報は手厚くお届けする予定にしていたが、大勢のリスナーからも情報が寄せられたことにより、よりしっかりとした内容をお届けすることができた。
- いろいろな分野で活躍する人を長岡アナがインタビューする「雑談無双」が看板コーナー。ゆっくりと話を聞いてその人の人柄を引き出すトークは長岡アナの得意分野だ。
- 共通テストの話題は受験生とそれを応援する皆さんも応援したいという狙いがあった。一方、一部のリスナーが置き去りになったと受け止められる表現があったことは反省点だ。
- 衆議院の解散総選挙の話題について、長岡アナには「関心を持ってほしい」という思いがあるので、少し熱くなり自分の意見を出しすぎているように感じている。
- 各種調査の結果や数字は基本的に共同通信社のものを使用するが、出演者と制作サイドの認識の共有が不十分だったかもしれない。混乱を招かぬようチェック体制を強化したい。
- とっくんは北九州在住の料理系ユーチューバー。およそ 100 万人のフォロワーがいる。SNS とラジオの相性のよさを活用する目的で起用している。
- 「雑談無双」には様々な分野で活躍する人にゲスト出演いただいている。今回は“最新”の文具をご紹介いただいたので、少しイメージがしにくかったのかもしれない。
- 長岡アナのいじりは、初めて番組に接触するような人をびっくりさせてしまうかもしれないので、制作サイドがしっかりとコントロールをしたい。
- どんな話題もポジティブに変換するというアイデアはとてもユニークだ。番組の「色」を出すためにもぜひ参考にしたい。
- 番組がどこかに「寄る」必要はないと考えている。自分の言葉で熱量を持って伝える長岡アナのキャラクターをもっと生かすことができれば、番組は長く愛されると思っている。
などの説明をしました。